

サケの飼育記録

②



2019年1月3日

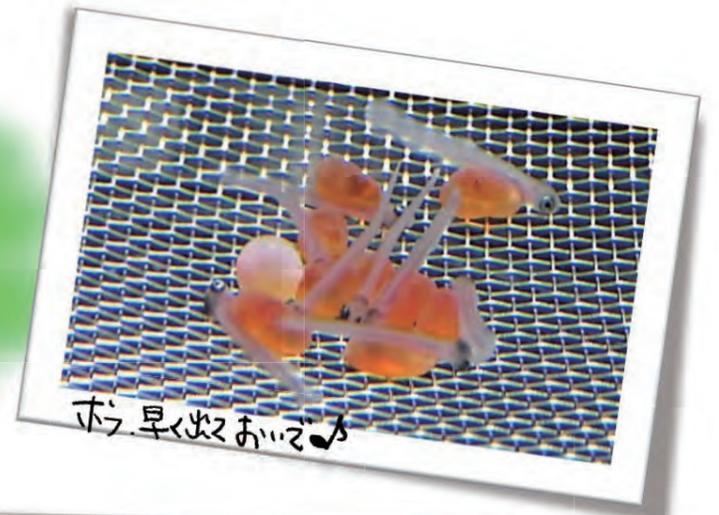
卵がふ化しました!!
出てきたのはまだ10尾ほどですが、
これから4日間ですべての卵がふ化する
筈です。

実はこの日にふ化するの予想していました。
水槽の温度を積算すると、ふ化の目安の
480℃になるのが1月3日だったのです。

サケの飼育では水温管理がとても
大事だということが
よく分かります。

2019年1月7日

1月6日時点で残り2粒だった卵が
今日の朝で残り1粒になっていました。
予定より遅いので少し心配です。
無事にふ化してくれるといいのですが。



早くふ化して!



960℃



水槽の底は大事な栄養袋です。

2019年1月8日

サケ達がふ化をした後、水面には
泡が立ちます。
サケが卵のカラを溶かすために出した
ふ化酵素によるものです。
本当は水槽の1/3程度、きれいな水と入れ
かえたいのですが、まだ1粒残っている
ので、手桶で泡をすくい取って、減った
分の水を足しています。

以前、残り1粒で待ちきれずに水かえをしたら、
その卵のサケがふ化の途中で動かなくなって
しまったことがあったので、今回は待つことに
しました。

ふ化したサケ達はまだ泳げないので暗い場所で
じっとしていますが、観察する時は水槽を明るくするので
驚いて右往左往してしまいます。
かわいそうなので、早めに観察を終わらせ、黒い
段ボールで水槽を覆います。

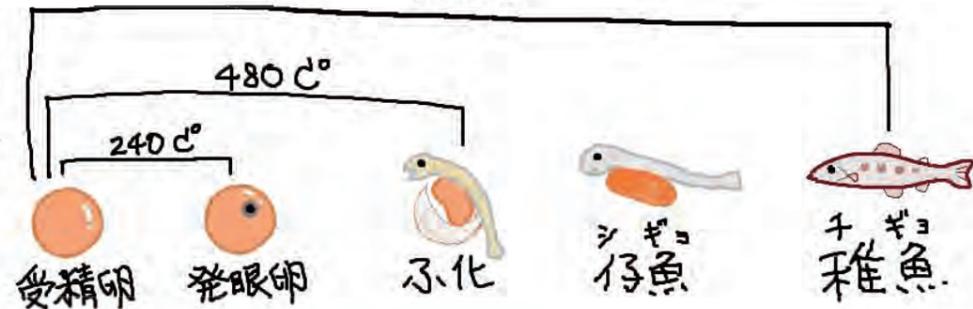


白いのが泡



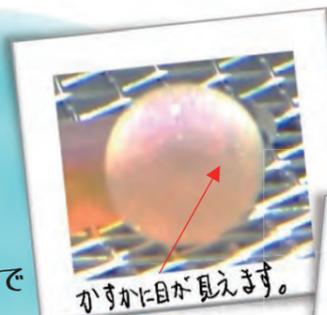
ふ化したサケは石のすき間に隠れます。

積算温度



2019年1月11日

残り1粒がまだふ化しません。
でも死んではいません。
(死んだら卵が白く濁ります)
よく見ると目がはっきりしていないので
発眼卵になった直後に
成長が止まったのでしょうか。



かすかに目が見えます。



他の卵は目がはっきりしています。

隣りの水槽は水かえ用の
水を作っている水槽2台。



水温も同じ、ろ過器も作動しているので
水かえでサケ達にストレスを与えないよう
なっています。

観察の時はカバーを外して
照明をつけますが、終わったら
またカバーを付けます。

このカバーは水槽に合わせて
プラスチック段ボールを切って
作りました。
サケ達は黒カバー落ちつくようです。

